

＼夏休み特別企画／

# 第2回 ジュニア Webinar DAY

参加費用  
無料

2022.8.17(水)/13:00 ~

@ZOOM Webinar

ヒトとヒトの視覚を科学する  
~ コンピュータビジョン・コンピュータ  
グラフィックス・ロボット ~

## LECTURER



慶應義塾大学教授  
藤代一成



慶應義塾大学教授  
斎藤英雄



九州工業大学教授  
田向権

申込みは  
こちらから!!



## 講演プログラム

- 13:00 開始
- 13:00 ご挨拶  
ジュニア会員活動について  
東京都市大学 田口亮教授
- 13:10 「錯視を組み合わせた  
裸眼立体視の実現」  
慶応義塾大学 藤代一成教授
- 13:40 「知能を得たコンピュータの  
眼が作る未来」  
慶応義塾大学 斎藤英雄教授
- 14:10 「ホームサービスロボットの  
ための脳型人工知能」  
九州工業大学 田向権教授
- 14:40 トークセッション
- 15:00 終了

※各講演ごとに質問の時間があります  
※講演題目・講師等は都合により変更になる場合がございます。

## 講演内容

### 錯視を組み合わせた 裸眼立体視の実現

藤代一成（慶応義塾大学教授）

#### 講演内容

画面をのぞき込むのではなく、物体が画面から飛び出すように見えた？裸眼立体視は誰をも魅了する技術です。この講義では、高価なデバイスを使わなくても、アナモルフォーシス（歪像）に、セルフシャドウと視線追跡を組み合わせることで運動視差を誘発し、折畳み可能ディスプレイが搭載されたモバイル機器でも単眼性の裸眼立体視が実現できることを証明します。この仕組みから得られる立体視をよりシャープにするために、サイクロープスの眼という概念の利用にもふれます。

#### メッセージ

CGはfakeを科学する学問です。fakeは正義であることを伝えたいです。

#### 講師略歴

理学博士（東京大学、1988年）。東京大学、筑波大学、お茶の水女子大学、東北大学を経て、2009年から慶応義塾大学理工学部情報工学科教授。専門は、コンピュータグラフィックスとコンピュータ可視化。日本学術会議連携会員、IEEE Visualizationアカデミー会員。

## 参加詳細

対象：高専生、大学1,2年生  
高校生の参加も歓迎しています

定員：1000名  
(先着順で定員になり次第締切)

費用：無料  
非会員の方も無料で参加可能です

## 参加方法

- 下のQRコードからWebinar登録  
(学会ジュニアHPからもアクセス可能)
- 登録完了後に招待メールが届きます
- 招待メールのURLをクリックして参加

※講演にはZOOM Webinarを使用します。  
※事前にダウンロードしておく必要はありません。  
操作方法については[こちら](#)



### 知能を得たコンピュータの 眼が作る未来

斎藤英雄（慶応義塾大学教授）

#### 講演内容

AI（知能）とカメラ（眼）が結びつくことによって、カメラが直接撮影した被写体やシーンだけではなく、カメラには撮影されていないものまでも可視化したり認識できるようになっています。その仕組みと、それが社会をどう変えていくかを展望します

#### メッセージ

コンピュータビジョン（コンピュータの眼）であるカメラが知能を得て、それが社会で大量に使われると我々の生活がどんなに便利になるかを一緒に創造・想像しましょう。

#### 講師略歴

博士（工学）（慶応義塾大学、1992年）。慶大院修了後、助手・専任講師・助教授を経て、2006年から慶応義塾大学理工学部情報工学科教授。1997年～1999年米国カーネギーメロン大学訪問研究員。専門は、コンピュータビジョン、バーチャルリアリティ。電子情報通信学会フェロー、日本バーチャルリアリティ学会フェロー

### ホームサービスロボットの ための脳型人工知能

田向権（九州工業大学教授）

#### 講演内容

家庭やオフィス、病院といった人間の生活空間で人間と一緒に働くホームサービスロボットの研究開発が進んでいます。多様な環境下で片付けやお使いといった仕事をやるロボットの実現には、人間と同じような知的処理が必要不可欠です。本講演ではロボットの視覚や触覚を人工知能で実現する方法と、実際のロボットへの適用例について紹介します。また、人工知能が消費する電力問題についても触れて、最先端の脳型チップにより解決を目指す事例を紹介します。

#### メッセージ

ロボットや人工知能の楽しさと、その研究開発には幅広い専門分野の融合が必要不可欠なことをお伝えしたいです。

#### 講師略歴

2006年九州工業大学大学院博士課程修了。九州工業大学博士研究員、東京農工大学助教、九州工業大学准教授を経て2021年より現職。ホームサービスロボットの競技会で5回の世界優勝。